



オ ア ゾ

医療法人  
悠水会  
季刊誌

平成30年1月発行

第19号

タイトル「オアゾ」は創刊するにあたり、職員より募集し、数ある作品の中から決定しました。エスペラント語（世界共通語）で「オアシス」の意味です。



## 新年の御挨拶



(医)悠水会 理事長  
**岡部 孝熙**

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当院並びに当法人への変わらぬご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も地域の皆様に医療・介護を通じ、「安心」と「満足」ある人生」を感じられるよう貢献してまいります。

さて、平成30年4月には医療・介護の同時改訂が控えております。今回の改訂で国は【1】人生100年時代を見据えた社会の実現

【2】どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会の実現（地域包括ケアシステムの構築）

【3】制度の安定性・持続可能性の確保と医療・介護現場の新たな働き方の推進

これらを基本認識として制度を変えていくようです。

当院でも、これまで以上に利用者の方々の視点に立った「切れ目ない医療及び介護の提供体制」ができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを取り組んでまいります。また、国は介護療養病床の設置期限が平成29年度末までとなつていたことに鑑み、取り「ターミナルケア」等の医療機能と②「生活施設」としての機能とを兼ね備えた新たな介護保険施設として、「介護医療院」を創設し、併せて病院・診療所から介護医療院に転換した場合には、転換前の病院・診療所の名称を引き続き使用でき、現行の介護療養病床の経過措置期間についてでは、6年間延長することとしました。

従つて、当院の介護療養病床も例外なく介護医療院への転換へむけ、すぐにではありますましたが、早い段階で舵を切つて参ります。

これから、日まぐるしく医療・介護の情勢が変わつて参ります。職員一丸となつて地域の皆様の為に努力を重ねる所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 地域活動について

地域連携室 戸田 登三佳

平成30年度は「団塊の世代」が75歳以上となる平成37(2025)年に向けて、医療保険と介護保険の制度改定が同時にあります。

今後はたとえ病気を抱えて介護状態になつても住み慣れた地域で、自ら、地域の頼なじみの中で健康づくりを行うことにより、自らの生活に取り入れ、継続していくことの大切さを感じるとの感想を頂いています。

各地区の公民館にて健康維持のため、食事の大切さや転倒予防、認知症予防教室等を開催し、その後に体力測定やレクリエーション活動で身体を動かしながら、参加者40～50名ほど行っています。

地域連携室としては地域の皆様の健康維持や生活に役立つ情報を発信

どで行つています。

お互いに励まし、声掛けあいながら、地域の頼なじみの中で健康づくりを行うことにより、自らの生活に

取り入れ、継続していくことの大切さを感じるとの感想を頂いています。今年度も老人会や福祉委員の担当者様からの依頼を受け、リハビリテーション科や栄養科と協力しながら、健康教室やレクリエーション活動を行っています。

今後とも、地域の皆様に安心と信頼してご利用いただける病院として、関係機関の連携を密に行い、地域の皆様に貢献できる活動を継続していただきたいと思います。よろしくお願い致します。

んな働きがあり、テレビや雑誌などで良く耳にする「筋肉の材料」もその働きの一つとなります。その為、いくらたくさん運動や筋トレをしても必要なタンパク質が摂取できていないと強い筋肉を作ることができません。また、適度な運動をしないとタンパク質の吸收が低下してしまうと言われており、いかに密な関係であるのかが分かります。

その中で、参加されている方々から栄養に関する質問を多く頂いた為、今回初めての試みで栄養科と連携して「栄養(タンパク質)と運動」というタイトルで健康教室を行いました。

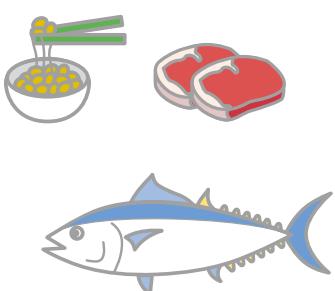
タンパク質と運動の関係を簡単に説明しますと、タンパク質にはいろりやすい筋肉を紹介し、皆さんと一緒に行つています。

### 健康教室での取り組み ～栄養科との連携～

リハビリ科 小嶋 孝洋



一緒に自宅で出来る筋トレを行いました。アンケート結果では満足度も高く、また参加したいなどの声を頂きました。今回をきっかけに、他部署と連携した健康教室を今後も企画できたらと考えています。



## 地域健康教室に参加して

管理栄養士 横崎 由美

9月6日・7日の2日間、太宰府南小学校・高尾台公民館にて、地域の方へ、高齢者に必要な栄養素「タンパク質について」をテーマに話しをさせて頂きました。

常日頃からダイエットや食品のエネルギーのことは話題になると想いますが、タンパク質の量については、あまり意識されていないのではないかと思ふ。筋肉や臓器・皮膚・爪・髪など私達のからだをつくるもとになる大切な栄養素なんですよ!ということをお伝えしました。参加後に感想を聞いた所、とても勉強になりましたという声が聞けたので、良かつたと安心しました。タンパク質の多い食品



としては、肉・魚・卵・大豆製品・乳製品等ありますが、1日のタンパク質60gの献立例を説明し、参加者の方に同じ位とれているか、手を挙げてもらつたところ、5名位でした。元気な高齢者でも、75歳を過ぎると粗食になり、タンパク質の摂取量が減つてくるそうです。タンパク質をしっかりと取つて、筋肉が衰えないようになりますよ!と呼びかけました。でも、食欲がない時は肉や魚等はちよつと食べれそうにないですね・・・ということで、水城病院の患者様に人気の栄養補助食品を紹介しました。1つは1本125ccで200キロカロリー・タンパク質7・5gの栄養補助飲料(牛乳)

230ccと同じタンパク質です)で、参加者の方へ試飲してもらいました。もう一つは1個80キロカロリー・タンパク質6・2gの栄養補助ゼリー(卵1個と同じタンパク質です)です。病院や施設で使用している、介護用食品・治療用食品・栄養補助食品等を購入できるサロンを昨年4月に水城病院の本館前にオーブンしました。自宅で食事や栄養のことで困っている方がいらっしゃれば、お声かけ下さいと最後に紹介しました。話が終わつた後、参加者の方から、入院中のご家族が食事が入らないので、紹介したゼリーを食べさせたいと相談を受けたり、在宅で困つている人にとっては、助かりますよねと声をかけられました。

在宅で介護をされていると、食事作りは本当に大変だと思います。介護者の負担が少しでも軽減できるよう、レトルト食品や摂食・嚥下機能が低下してきた方に必要なところ



剤も紹介しています。  
今後も地域の方へ健康教室を行つことで、食事や栄養の事で困つている方に、少しでもお役に立てることができればと思います。

## 水城病院60周年にあたり

### 学生の頃の回想

6病棟 原 安代

約30年前、病院の周りは田んぼがあり、とつても長閑で、早朝から患者さん3~4人が病衣姿で楽しそうに散歩をしていたり、病棟前の長椅子に座り煙管でタバコを吸っている患者さんもいた。学生に「今日はお茶当番?」等いろいろと話しかけていた。現在病室は4人部屋だが、以前は8人部屋（現在3病棟の病室の広さ）であり、申し送りが終わると雑巾で床頭台、ベッドの下の四角い衣類入れを拭くのも学生の日課であつたが、休みで2日も拭かないと綿ボコリがうつすらと茶色のふたの上にたまっている状態。当時の寝具は綿布団だったからか、ベッドの間も狭く床頭台を拭いたら方向転換できずに後ろ向きで下がらなければならぬ状態。抑制している患者さんで一番多かったのがつなぎの使用で、便を触れないようにする為だつたが、抑止廃止を宣言し、つなぎを廃止し便汚染が多くなるかと心配したが、用だつたことを覚えている。寮生活はというと、今の2B病棟のシャワー室の前から渡り廊下がありテナントビルの所に二階建ての寮があり

ました。私たちの学年13人と先輩3人と大人数で生活していました。看護学校の同級生は私たちのことを見守っていました。

寮生活は楽しかった。  
年間行事もあり、春は宝満山への登山、夏は海水浴、毎週木曜日のバケツ、2人1部屋、電話の順番待ち、お風呂の順番取りで洗面器を並べていました。寮といえば門限がありましたが、門限を破りディスコに行き終電への駆け込み、又無断外出、どういう訳かそんな日に限って

煙の草むしり（現在新館が立っているところは半分が家庭菜園用の畑で、院長の叔母様が育てていた）、ランニングなどなど。

赤点が続くと、医局で学習させられていた。

今振り返れば同期13人一人もやめることなく卒業しています。

## 敬老会の様子



敬老会が9月10日に行われ歌や太鼓、踊りなどの出し物で大盛況でした。

スタッフの催し物でフラダンスを踊り患者様のご家族の飛び入り参加もありとても盛り上がった1日となりました。



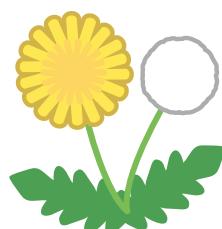
### 6病棟

今年6病棟では3名様の白寿のお祝いを致しました。職員も衣装をまとい、楽しく過ごしました。



院長からピンクの公衆電話が23時頃に鳴り、名前を呼ばれた者が会話を確認、結局全員の名前を呼び30分くらい続くのでしたが、いいのがバレると外来口ビーの掃除、

ありがとうございます。大変感謝しております。



## デイサービス

介護福祉士 岡本 智恵美



みずきデイサービスセンターは開設15年、途中改修工事もありながらより良い生活空間を提供出来るよう日々営業しております。ご利用者様は入浴・物理療法・趣味活動を通じてADLの維持や機能向上に努められています。

今回は、デイサービスでの四季折々の活動風景を掲載させて頂きます。

# みずきデイサービス



### お菓子作り

春

母の出番、女性ご利用者様を中心に“どらやき”を作りました。大小さまざまですが味は格別！！



### 夏祭り

夏

仲間と一緒に縁日へ！！魚釣りは例年の人気出店です。



### 敬老会・外出支援

秋

赤白の幕を飾って盛大にお祝い、最年長は101歳！！又、福岡県内の観光名所へお出かけもしました。



### 餅つき

冬

フーフー言いながら男性陣は杵を打ち、つきたてのお餅を皆で美味しく頂きました。

まだまだ、ここに掲載されていない活動も沢山あります。(手工芸・生花・絵画・シナプソロジー・コーラス・絵手紙・百人一首・囲碁・将棋・園芸・書道・ダーツ・ボランティア)

今後も、ご利用者様と一緒に楽しみながら“安心と生きがいを両立した質の高いサービス”理念のもと、全スタッフで皆様をおもてなしさせて頂きます。  
お近くにお越しの際は、どうぞセンター2階へお立ち寄り下さいませ。



## 医療法人 悠水会

### 理 念

地域の皆様に良質な医療・介護を通じ、「安心」と「満足ある人生」を感じられるよう貢献します。

### 基本方針

1. 私たちは、地域の皆さんにトータルサポートが出来るよう積極的な貢献に励みます。
2. 私たちは、常に向上心を持ち、良質な医療・介護を提供出来るよう努力し続けます。
3. 私たちは、地域におけるニーズを敏感に感じとる努力を怠らないようにします。
4. 私たちは、常に謙虚で、相手の立場に立ち、個人の価値を尊重する行動に努めます。
5. 私たちは、ここに集う人々が安らかな心でおおらかに生き、満足ある人生を感じられるよう貢献します。
6. 私たちは、仕事に誇りを持ち、皆様に喜び(満足)を提供します。

### 編集後記

広報委員 相蘭真紀子

あけましておめでとうございます。  
新年を迎えられ皆様いかがお過ごしでしょうか?  
それぞれに心に決めた新たな目標を掲げられているか  
と思います。

あつという間に過ぎる一年、日々色々な出来事があり  
ますが「良かつた!」と思うことを一つ見つけて眠りに  
つければ○。明日のパワーに繋がると信じて一日を大切  
に過ごしたいと思っています。今後もスタッフ一同、よ  
り良いサービスを提供できるよう努めていきます。  
今年もどうぞよろしくお願いします。



#### 水城病院

〒818-0104  
太宰府市通古賀3丁目10-1  
TEL 092(922)2050  
FAX 092(921)2099

#### みづきケアプランサービス

〒818-0104  
太宰府市通古賀3丁目9-13  
TEL 092(922)2051  
FAX 092(928)5467

#### みづき訪問看護ステーション

〒818-0104  
太宰府市通古賀3丁目9-13  
TEL 092(922)2050  
FAX 092(922)2962

みづきヘルパーステーション  
〒818-0104  
太宰府市通古賀3丁目9-13  
TEL 092(922)2050  
FAX 092(922)2962

通所リハビリテーション悠遊俱楽部  
〒818-0104  
太宰府市通古賀3丁目10-1  
TEL 092(922)2050  
FAX 092(922)2118

みづきデイサービスセンター  
〒818-0104  
太宰府市通古賀3丁目19-3  
TEL 092(928)7005  
FAX 092(928)7029

サービス付き高齢者向け住宅  
はるか～悠～  
はるかヘルパーステーション  
〒818-0104  
太宰府市通古賀4丁目7-10  
TEL 092(918)4722  
FAX 092(918)4733



URL <http://www.mizuki.or.jp>

住所 〒818-0104  
太宰府市通古賀3丁目10-1

TEL 092(922)2050

FAX 092(921)2099

#### 診察受付時間

午前診療 9:00~12:00(月曜日~土曜日)  
午後診療 13:30~17:00(月曜日~金曜日)

#### 休 診 日

日曜日、祝日、8月13日~15日、  
12月30日午後、12月31日、1月1日~3日

